

和歌山県橋本市消防本部に高規格救急車を寄贈 ～紀の川をイメージした青のカラーリング車両が地域住民の生命を守る！～

日本損害保険協会近畿支部(委員長:中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員)では、2月9日(金)、和歌山県橋本市消防本部(消防長:永井 智之 消防司令長)にて受納式が開催され、高規格救急自動車を寄贈しました。橋本市消防本部への寄贈は今回が初めてとなります。

当日は、橋本市の平木 哲朗 市長、和歌山県の福田 充宏 危機管理監、橋本市議会の森下 伸吾 議長、橋本市消防本部の永井 智之 消防長、ほか多数のご来賓・関係者が参列される中、受納式が開催されました。

冒頭、和歌山損保会の久綱 二三恵 会長(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社和歌山支店長)から、「近年、救急自動車の出動件数が増加傾向にあるなか、高度な救急医療機器を装備した高規格救急自動車の配備を通じて、地域住民の皆さまの安全で安心な生活のために大いにお役に立っていただきたい。」と挨拶の上、目録およびマスコットキーを贈呈しました。続いて、橋本市を代表して、平木市長から、謝辞とともに寄贈に対する感謝状が授与されました。また、受納式後は、救急救命のデモンストレーションと寄贈車両のお披露目式が行われました。

損害保険業界は、保険事業を通じて交通事故被害者の救済を支援しておりますが、同時に自賠責保険の運用益を活用して、交通事故の防止・軽減および交通事故被害者救済のためにさまざまな事業を行っております。救急自動車の寄贈もこの事業の一環として行われているもので、1971年度以降、延べ1,690台を全国の消防本部に寄贈しており、1991年度からは、救急救命士制度の発足に伴い、従来型の救急自動車に代えて、より高度な救急医療機器を装備した高規格救急自動車を延べ301台寄贈しています。今年度は、全国で5台を寄贈することになり、そのうちの1台が当地へ配備されたものです。

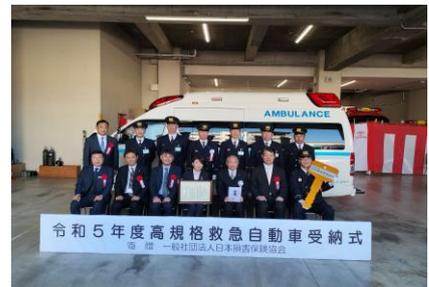
和歌山損保会は、今後とも地域の安全・安心の向上のための社会貢献活動を行っていきます。



久綱会長(右)から平木市長へ目録贈呈



感謝状受領



集合写真



久綱会長(右)から永井消防長へマスコットキー贈呈



平木市長の謝辞挨拶



寄贈した救急車